

武蔵野市民文化会館改修に伴う基本設計について

1 基本設計のポイントについて

- (1) 【劣化改修①】 これまで 30 年間の公演を支えてきた舞台特殊設備（舞台機構・照明・音響）を最新の仕様で更新します。(1,043,900 千円)
- (2) 【劣化改修②】 中央管理機器・空調設備機器などの電気設備・機械設備を最新の仕様で更新し、今後 30 年間、市民文化会館の基盤を支えます。(818,100 千円)
- (3) 【文化施設機能性】
 - ① 大小ホールの客席を改修し、座席幅を拡張し快適性を向上させます。(219,600 千円)
 - ② 舞台機構、展示室のパネル及び練習室等の防音対策を行うことで、大小ホールへの防音対策を強化します。(153,900 千円)
 - ③ 大ホール等を除き、空調システムの個別化を行い、快適性の向上を図ります。(305,400 千円)
 - ④ 利用者がアクセスしやすいように会館事務室を改修し、OA床化を図ります。(12,100 千円)
- (4) 【安全性】 大小ホール・エントランスの大空間天井の耐震性強化のため、吊り天井から直天井等へと改修し、抜本的対策を講じます。(310,500 千円)
- (5) 【利便性・バリアフリー】
 - ① トイレを全面改修し、増設、温便座の設置等により利便性を向上させるとともに、ランニングコストの低減を図ります。(314,800 千円)
 - ② 大ホールホワイエ（2 階）から 4 階へ移動するためのエレベーター、正面玄関にはエスカレーターを設置し、バリアフリー化を図り、利便性を向上させます。(158,800 千円)
- (6) 【公共性】 エネルギー利用の効率化のため、照明の LED 化を進め、さらにコージェネレーションを導入し停電時発電機能を付加することで、災害時には隣接する第一中学校体育館への電力供給を可能とさせます。(419,200 千円)
- (7) 【耐震改修】 建物は新耐震基準に適合しているが、災害時等の役割を考慮して、耐震性をより強化します。(68,800 千円)

2 基本設計の概要について（別紙参照）

3 コスト削減について

別紙表中「改修案提示額①」と比較し、73,400 千円のコスト削減を図りました。

4 今後のスケジュールについて

	平成 26 年度		平成 27 年度												平成 28 年度												平成 29 年度		
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4		
実施設計	■																												
契約							■																						
工事準備													■																
改修工事															■														

リニューアルオープン